

省エ

—上郷ダムの白鳥たち—

広報
のあさひ

No.398
1990
1/1

行動する若年たちばいま。



鈴木優子さん(24・西町)
連合青年団・家事手伝い



石塚克哉さん(22・四ノ沢)
連合青年団・左官業



司会
五十嵐義行広報委員
(34・中沢)農業

テーマ。若者定住

いよいよ21世紀まであと10年。

「朝日自然観」のオープンを機に、若者の住みやすい町づくりが大きなテーマとなる1990年代の幕開け。

町では「朝日町第三次基本構想」の策定の年にあたり、グループ活動を通して町づくりに行動する青年団やサークルのメンバーに「若者定住」をテーマに語っていただきました。

おもしろネーム のサークル誕生

●司会 明けましておめでとうございます。

今日は「若者定住」をテーマに青年団やサークル活動を通しての率直な意見、考え方を出していただきたいと思います。

では、はじめに皆さん方

●真田 「あめつかぜ」のマネージャーをやっている真田です。勤めは「明鏡荘」で、今年で十一年目。河北町から通っています。

四年前に「あめつかぜ」に出会いまして、リーダーの松田さんの話を聞いているうちに、活動は朝日町でしかやっていないと聞き、寒河江でコンサートをやつ

●清野 劇団「りんご村から」の清野です。仕事は表具師をやっています。

昭和六十二年の春に発足しました。身近なことを題材に町の課題をお客さんにアピールしていくこうと活動しています。

原則的には創作劇で、今まで年一作の割りで「消防団物語り」「夢を見て」「ゴーレッド人材センター」と上

ながらやっています。

●渡辺 「アップルハウスクラブ」の渡辺です。仕事は左沢の「井筒屋書店」に勤めています。

の活動や現状をご紹介ください。

「あめつかぜ」の真田さんからどうぞ。

なことから、ずうつとかわってきたんです。現在、メンバーは三十人。寒河江での「ふれあいコンサート山形」を機に「音もだち」の輪が広がり、ほかの所でもコンサートをやっています。

だれもが参加できて、だれもが歌えるコンサートづくりをめざしています。

●清野 劇団「りんご村から」の清野です。仕事は表具師をやっています。

昭和六十二年の春に発足しました。身近なことを題材に町の課題をお客さんにアピールしていくこうと活動しています。

魅力ある団体活動が 「若者のまち」を創る



真田勝彦さん(35・河北町)

「あめつかぜ」

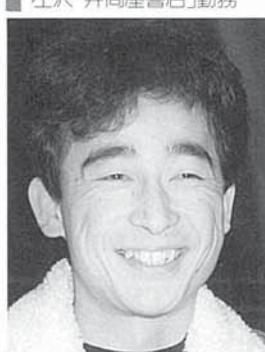
養護老人ホーム「明鏡荘」勤務



渡辺はるみさん(28・西町)

「アップルリーフクラブ」

左沢「井筒屋書店」勤務



清野則昭さん(30・四ノ沢)

劇団「りんご村から」

塞河江「片桐表具店」勤務



このクラブは、「新田舎生活講座」という中央公民館の事業に参加していたメンバーで、一昨年の十一月に作つたんです。現在二十五人ほどいます。

いまは、都会の人は田舎暮らしにあこがれる志向が強いんですよね。そこで、せつかく田舎に住んでいるのにその田舎のよさを利用してないんじゃないかなと、最初はログハウスをつくろうということになつたんです。

●石塚 一昨年の六月に家の都合で帰つて来ました。いま、オヤジと一緒に左官業をやっています。

Uターン青年に 魅力の青年団

ですが予算的に無理。そこで、手初めにドームハウズづくりに取り組み、いま朝日中の入り口のところに立つてあるものです。

昨年春、四ノ沢の親睦会に長男だというので入ったら、知らないうちに四ノ沢青年団の団員になつていたんですね。それまで青年団を知らなかつたし、活動もどのくらいやつてあるのか、疑問があつたですね。

そこで、一番最初に七月の「ふるさとやらばん」の劇団公演に取り組んだのですが、やつぱりこう、みんなと一緒にやれたという感動がわいてきて、やみつきになりました。また、事

業が終わつたあと、みんなと飲むのも魅力ですね。

●鈴木 私も四年前に家に帰つたんですが、青年団つてなんだろうという感じで誘われるまま地元の宮宿青年団に入つたんです。一年ちょっととなんでよくはわからんいんですが、昨年は国内研修とか全国青年大会の秋祭りにも参加でき、楽しい年になりました。みんないろいろ教えてくれて、いろいろな人と出会えて、いろんな話が出来るでしょ。

●清野 青年団員はいま、全部でどのくらいいるのかな。おれたちの時は二百四十人くらいいたが……。

●鈴木 名簿上では九十三人ですが、なかなか人が集まらないのが悩みです。特に女子青年が少ないし、今は夜勤があるとか、町外に働きにでている人も多いみたい。なにか理由を付けてこない人もいるようね。

青年団にも原因があると思うけど、一所懸命やつていて人が集まらないとさびしい思いがします。

そのへんが、これまでにはなかつたことです。
ひさしぶりに会つた同級生と話をする、「変わったねえ」なんて言われて。青年団のことばかり話していただのかなあ。私自身、第二の挑戦のような感じで取り組んでいます。

仕事は家事と果樹の手伝いをやっています。

●司会 それぞれ、悩みなんかもあると思うんですが聞きたいことなど、ご質問ください。

ターゲットは明日の青年たち

●清野 田舎も都市化しているのかな。個人主義なんだろうね。失礼だけど、青年団という名前のイメージが悪いんじゃないかな。

●渡辺 私が入っていた頃も同じ問題がありました。青年団はサークルとちがつてタテの関係が必要でしょ。年代順にスムーズに新陳代謝をはかけていくことが大切だと思います。

●石塚 四ノ沢の場合、これまで特に活動なかつたのに、区から助成金がでたんだよね。それじゃうまくないとということで、なにかやろうとなつたわけ。大人集めたんじゃ意味ないからまず子供から手懐けていこうということで、花火大会を開いたらけつこう喜ばれてさ。おやつのジュースなんか、一応ポンサーがついて。うちのオヤジなんだけど。(一同笑い)

●真田 以前に比べ人数も増えましたので、練習の日に仕事などで全員が集まる機会が少なくて、新しい歌と一緒に覚えられないという現状も出ています。

●司会 そのへん、青年団とは活動の幅が違うと思うんですが、サークルの方はどうですか。

●清野 どの団体にも言えることだと思うんですけど、発足した当時はいいんですが二年目三年目になるとマネリ化してくる。やはり、最初の魅力をいかに保ち続けるかがサークルの課題だと思います。

●渡辺 魅力って大事ですよね。夏に「町の木」がブナということで、写真家などを招いて「ブナの森フォーラム」という講座があつ

へんな言い方だけど、子供たちなどをうまく利用すると、おもしろい事業もでき、もつと協力性もあるんじゃないかな。

●鈴木 宮宿つていうと、けつこう若い人なんかが、いっぱいいるよう思うでしょ。毎週、中央公民館のロビーを借りて集まりがあるんだけど、決まりきった家に帰つていないとそのままになつちゃう。人集めつてほんとに大変だと思ったわ。でも、いまは新たに青年団を見直してみようといふ話が出ているんです。

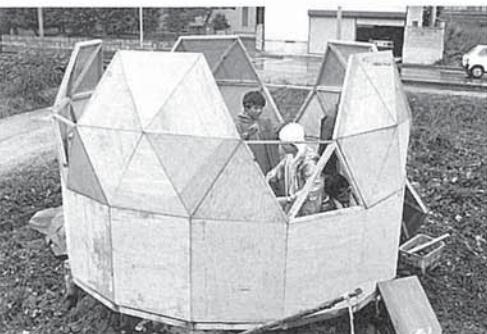
目標と魅力づくりが活動のポイント



さわやかな歌声グループ「あめっかぜ」



全国青年大会出場を果した「りんご村から」



アウトドア活動の「アップルハウスクラブ」

たんですが、それには町外の方も参加して盛り上がった講演会でした。

私は、これまで青年団と

か、同じ年代の人達と活動していたんですが、クラブ

は年令が関係ないし、けつ

こう上の人もいて、ばらば

らな年令の人達が集まつて

いる。その点、むしろ楽し

いですね。

●真田 「あめつかぜ」は

独身女性が多く、結婚した

らどうなるか。そのへん、

結婚しても続けてもらえるようなサークルづくりをしたいと考えています。

びを考えることも楽しいですね。

●清野 話題が違うかもしれないが、朝日町はマス

コミの使い方が下手です。

昨年、一連の「自然観」関

係の報道があつたが、町の

魅力をうまくPRしてほしい

いな。看板一つとっても、

アイデアを凝らしたおもし

ろさが欲しい。夜など、町

の景観が暗いんだよね。

●渡辺 街灯は明るいんだ

けどね。(二回笑い)

私も話ちがうんだけど、

うちの人が次男で、独立し

た家庭で西町のアパートに

住み、二人とも町外で共稼

ぎなんですが、町内に子供

をみてくれる所がなくて、

大江町の私立の保育園に預

けています。仕事先が近い

のとそれそれ実家も近くに

ありますので、特に支障は

ないんですが、次三男で独

立した家庭を持つとなると

そういう面やアパートなどがないんですね。若い

夫婦が生活できる場として

コテージは家族サービス

に最適。自分たちで遊

見直そう生活の場

新たな発見と課題

●司会

今までの話の中にもでていますが、それで

は朝日町の良いところ、魅

力という点ではどうでしょ

うか。

●鈴木 人情がよいと

か、自然が豊かだとか、

もつてるだけではなく

にならないし、なに

かいいことに結び付け

ていけないかしら。

●真田 河北町に住ん

でいて、「自然」といわ

れるよう山が町には

少ないんです。スキ

場のある「朝日自然観

」のような施設ができる

その点、朝日町がうらやましいですね。

子供が三人いますが、

コテージは家族サービス

に最適。自分たちで遊

新時代に向こう

行動を起こそう

●司会

いろんな課題がでましたが、最後に新年の抱負をひとことお願ひします。

●鈴木

これからもいろんな行事に積極的に参加して、いろいろ人と出会って話を

したいと思っています。そ

ういうことが、知らなかつた自分の魅力を引き出して

くれるし、仲間を広げる第一歩だと思っています。

●石塚

ねんがら年中、出て

ぱりいるんですが、必ず

「青年団事務所にいつく

る」ってひとことうよう

にしています。仕事も忙し

いが、オヤジも青年団のこ

とをわかってくれているよ

うだから、暇れたり。そ

のへん、全体に理解される

と言えるようなオヤジにな

りたいと思っています。

●司会

ありがとうございます。

て、うちの人の協力も得ながら、いろんなことに参加したいと思っています。

●清野 これまでですと、芸術文化祭のように入が集まっている中で、その発表の一つとして上演してきたわけです。個人の考えですが、今年は「りんご村から

單体で上演をやりたい。そ

こで、どれくらいお客様が集まってくれるか、どれだけ認めてもらえるか試してみたいと思います。

●真田

自分が動いている

ということを実感したい。

寒河江の人で五十を過ぎて

も精力的に若い人といろん

な活動をやっているかたが

いるんです。「自分史」をつ

くるというか「おれはこれ

だけのことをやつて来た」

と言えるようなオヤジにな

りたいと思っています。

●司会

ありがとうございました。

二十一世紀まであ

と十年。ぜひ今年も、「行動

する朝日の若者」をめざし

て頑張ってください。これ

で座談会を終わります。



若者の町づくりの中核となる連合青年団

第三次基本構想の策定めざす



朝日町長 小林 富蔵

皆様、明けましておめでとうございます。
昨年は、皆様のご支援とご協力によりまして
「朝日山麓家族旅行村」「朝日自然観」が十月に才
一オープン、ほぼ順調な経営でスタートいたしまし
た。また、地区住民待望の最上川に架かる「八
天橋」がみごとに完成し、りんご生産を中心と
する農業振興への大きなはずみとなりました。
さらに、各町内企業も順調
な伸びを示しましたことは、
ご同慶の至りであります。

さて、一九九〇年代の初年
のことし、町は二十一世紀を
めざし一層発展するための基
盤を固めるため、激変する国
内外の情勢を注視しながら、
広く町民各位の参加を得て、
「朝日町第三次基本構想・基本計画」の策定を
めざします。また、最上川の清流を取り戻すた
め、これまでの計画にもとづく小型合併処理淨
化槽設置の普及推進事業に積極的に取り組み、
生活環境の整備・充実をめざすほか、道路網や
文教施設の整備、農林道をはじめとする農業振
興の基盤整備等々、各般にわたり一層の進展を
期して最大の努力をいたす覚悟であります。

新年にあたり、今後も町民各位の絶大なるご
支援とご協力を心からお願い申し上げ、年頭の
あいさつといたします。

どう活かす「ふるさと創
生1億円」。「よあかしフ
ォーラム」(6月)やアイデ
ア人気投票で提言集約。5ヶ年計画の「スポーツ振興基
金」造成運動スタート(1月)。
7月には朝日中バスケット部が
東北大会に初出場し、3位入賞。

1989
平成元年
メモリー
Memory 10



世界初の「空気神社」全国設計コンペの入賞作品発表。東北大助教授の谷津さんの作品が特選に輝く。(9月)

テレビ「NHKスペシャル」で、
「朝日自然観」を中心としたむ
らおこしの様子が全国放映。内
容をめぐり論議を呼ぶ。(5月)県内初の「生涯学習課」を新設。
生涯学習の推進をめざした「朝日
町民大学」がスタート。(4月)

「平成」という新たな時代の幕開けを告げた1989年。この1年は、21世紀をめざした「むらおこし」一大プロジェクト事業、「朝日自然観」がオープンした記念すべき年となりました。1年を振り返って、町の主な出来事をご紹介します。

年頭のあいさつ



二十一世紀を目前にして

新年、明けましておめでとうございます。
「平成」と年号も変わり、期待と希望を持つて
迎える二十一世紀に、あと十年となりました。
昨年は、わが町の命運をかけた朝日山麓家族
旅行村「朝日自然観」が開村となり、順調な運
営がなされていることは、町民皆様方のご理解
とご支援の賜物と感謝申し上げます。

朝日町議会議長
松田 庄治

国内の好景気に支えられ、
町内企業もかつてない順調な
歩みを続けてることを喜んで
あります。しかし、農業面
においては農産物の輸入問題
が今後ますます増えることが
予想され、大きな課題と考え
られます。

日本を転じますと、東欧諸国
に起つた自由化の嵐、政情の激変は、わが国
の政治、経済面にどのような変化をもたらすの
か、わが国の政情も安定しているとは言えない
状況下にあって一抹の不安を感じ、政治、経済
の安定を願わずにはおられません。

二十一世紀に足を踏み入れようとしている今、
わが町の将来に希望を持ちながら、自分を見失
うことなく、皆様の心にゆとりを持てる環境を
つくることを願つてやみません。
ここに、町民皆様方の益々の多幸をお祈り
して、新年のあいさつといたします。



山形朝日農協の温泉開発事業による「りんご温泉」がオープン。
(12月)

朝日山麓家族旅行村「朝日自然観」開村(10月)。各種開村記念イベントを開催。



能中と四ノ沢両地区を結ぶ待望の
最上川架橋「八天橋」完成。喜び
の開通式。(10月)



フィリピン共和国・アブカイ町との「友好の町」
宣言式典開く(10月)。「日比結婚」シンポジウム
も開催。

誘致企業の(株)朝日電装が操業開始。
西原工業団地内に新築社屋完成。
(12月)



人生は「今」の連續である。

——自分で見つけよう「生きがい」——

あなたの生活は

充実していますか。

子供は子供で、何々教室だ、行事だと言って、食事も十分に取らずに飛び回っています。

それでは、もう少し年をとると暇ができるかと言え

ばそうでもありません。当然孫の世話が待っています。

さらに老人のためと称する

行事が引きも切らずに続きます。

人生を振り返って
みませんか。

私たちには毎日、生活のための仕事があり、精一杯努めています。しかも、家に帰れば子供の世話が待っています。子供が大きくなると暇ができるかといえばそうではありません。いく

私たちには毎日、生活のための仕事があり、精一杯努めています。しかも、家に帰れば子供の世話が待つ

ます。

家族そろって話し合いをするどころか、食事をする暇もありません。みんながいるらして、つづけんどんな言葉をかわすだけであります。このように家中の集中するのですからたまりません。体を休める暇があ

りません。みんなが忙しく、そして疲れています。このように家中の集中するのですからたまりません。体を休める暇があ

れています。はたして私たちの生活は、この今までいいのでしょうか。

年月は私たちに関係なく確実に進んでいます。遅いようでも、意外に早く進んでおられます。

人生は二度と繰り返すことができません。一分でも一秒でも過ぎ去ったことは絶対に戻りません。私たちのこの大事な人生を、何となく過ごしてしまっては寂しいではありませんか。

死ぬ間際になつて「私の

人生はよかつたな」と言える生き方が一番すばらしいのではないかでしょうか。

人生は今、今、今の連續である。

今のこの一瞬を大切にしたいもの。明日があるさ、後にしようという気持ちに負けては私たちの幸せはつかめない。今年こそは、自分「今」に積極的に取り組んでみませんか。



はたして、私たちはどんな生活を送っているか、ときには静かに反省してみたいのです。

です。そしてそれをメモにして置くのです。あとは自分の都合のいいときに、思いつくままを一気に書くのです。

今年の目標

定めてみませんか。

人生は毎日の積み重ねであります。しかし「毎日の目標を立てましょ」と言つて掛け声倒れになつてしまします。それよりも、もつとゆつたりした目標であれば実行できそうです。

私は、一年に一回は何か自分の考え方をまとめ、文章に残して置こうという目標を立てています。この程度

私のような一年のたつた一回の目標でも、十年たてば十編の文章の集まりになります。ただとじるだけでも一冊の本が出来上がりります。自分の人生と一緒に歩んできた文章であり、自分がどんな生き方をしてきたか確認できます。

趣味でサツキを一年に十

本ずつ増やすという目標をたてもすばらしいと思います。十年後には百本の見事なサツキになります。

その他いくらでも目標はあると思います。時間的にますし余裕があります。そして普段は忘れていても、誰かと話しているときとか、本を読んでいるときとか、掃除をしているときなど、なんかのきっかけで面白いヒントが浮かぶもの

積み重ねれば
一年の生活も
百年の人生にしなる。

一年にたつた一つの目標を立てたつもりでも、ここに大切なことが含まれていることに気付かれます。そのうちやるさと思つていたことが、半年間も何もしなければ、どうしても「あれをしなければなあ」と頭に浮かぶものであります。一年間の目標のつもりだったものが、いつの間にか六ヶ月後の目標にもなつてしまふわけであります。さらにもうと短く三ヶ月の目標になり、一ヶ月、一週間の目標になつてしまふものであります。

年のはじめが
肝心です。

「人生とは」などと、あまりにも大きすぎる目標を定めでは計画倒れになってしまいます。「毎日毎日の目標を」というのも小さすぎます。一年に一つの目標を立て本物を見失つてしまます。一年に一つの目標を立て実行し、それを何年か続けていくことが大切であるように思います。

頭に残っているものが一

つの弾みになつて、毎日の生活への前向きの取り組みとして現われてまいります。この生活への取り組みの積極性や真剣さは、何となく出るものではなく、大きな目標を持った余裕から出るものではないでしょうか。

百年の人生も 一瞬一瞬の 積み重ねである。

最初のうちは、そのうちに書きさという気持ちで居れます。十年後には百本の見事なサツキになります。

その他の目標は

あると思います。時間的に

ますし余裕があります。

だれでも大きな成果が得ら





感動と友情を乗せた 12日間の船旅

第12回山形県青年洋上大学

「心ひろく、たくましい青年の育成」をねらいとした第12回山形県青年洋上大学が去る10月29日から11月9日までの12日間の日程で行われ、大海原を舞台にした船内活動や、韓国の慶州市やソウル市などの訪問活動を通して、参加した271人の青年たちは貴重な体験と友情を育みました。そこで、町内から参加された2人の団員に感想を寄せいただきました。



真剣におそわる子供達

「しめ飾り」づくりに挑戦

北部ふるさと少年教室

十二月十七日、北部公民館主催の「ふるさと少年教室」が開かれました。参加した十五人の子供たちは、白田要助さん(72)ら六人のお年寄りたちから手ほどきを受け、ワラを使って編んでゆく「しめ飾り」づくりに挑戦。伝承活動を通して楽しい一日となりました。

八ツ沼チームが初優勝

町家庭婦人バレーボール大会



初優勝にわく八ツ沼チームのみなさん

「朝日自然観」で十二月十六日、スキー場開きが行われ、シーズン中の無事故を祈る安全祈願祭の神事のあと、関係者らは新しいペアリフトに試乗して、シーズンの到来を祝いました。



シーズン中の安全を祈願

スキー指導員を 常勤配置

ともない、今シーズンからパトロール員を兼ねた常勤指導員を配置することになり、常盤の阿部為吉さんと栗木沢の遠藤清実さん、それに栄町の村山恵子さんを委嘱。利用者の安全確保にあたることになりました。

「自然観」でスキー場開き

隣の リンク家族

堀ひのき (13) FUJIO



果を競い合いました。
決勝戦は八ヶ沼チームと常盤チームの西部地区同士の戦い。準決勝で逆転勝ちし波に乗る八ヶ沼が、常盤にストレート勝ちし初優勝を飾りました。三位は大谷と水本の各チームでした。

青春時代の貴重な体験
初めての海外研修。行くまでは、みんなと一緒に行動をともにできるだろうか不安でしたが、そこは洋上での船旅、いつしか「仲間」の顔が身近なものとなり、貴重な十二日間の旅となりました。

韓国青年との交流会では、「日本を追いこしたい」と自分のはつきりとした意志をもち、日本語の勉強に励む姿勢に感動しました。沖縄から酒田港への帰路、少し波が高く、最後に船酔いをしてしまいましたが、この青年洋上大学での体験は、青春時代の大きな思い出となりました。

太郎一 長岡信俊(26)
県企業局朝日川水系発電所



太郎一 村山三樹(24)
株ダイエー十字屋寒河江店

目標のある生活を送りたい

何か新しい体験、人との出会いを求めて参加しました。訪問国の韓国では地元青年との交流会がもたれ、自分の将来のために必死に日本語を勉強していると語る青年の姿に、自分が何か目標をもたなければと考えさせられました。不安だつた船内研修も楽しく過ぎ、さよならパーティーでは、いつしかみんなの心が一つになつて朝まで語り明かしました。今もまだ残る感動の余韻。皆さんにも、ぜひ体験して欲しいと思います。

スポーツにリズムをプラス

親子ふれあいスポーツ教室

家庭でもできる軽スポーツを通して親と子のふれあいを深めてもらおうと、中央公民館の大ホールを会場に、十一月十九日から五回

シリーズで「親子スポーツ教室」が開かれました。二十組の親子が参加した会場では、大江町の伊藤純子さんや町の体育指導員の指導で、風船やボールなどを使った軽体操や、リズミカルな音楽に合わせてのレーションダンスに楽しみふれあいの時間を過ごしました。

第十六回朝日町家庭婦人パレーボール大会

パレーボール大会が十二月十日に開かれました。

今大会には中部地区から十一チーム、西部地区から六チーム、北部地区から三チームの合わせて二十分チームが参加。日頃の練習の成

績を競い合いました。

決勝戦は八ヶ沼チームと常盤チームの西部地区同士の戦い。準決勝で逆転勝ちし波に乗る八ヶ沼が、常盤にストレート勝ちし初優勝を飾りました。三位は大谷と水本の各チームでした。

小さなこと 絵馬

太郎一・大日如来堂所蔵



今年は午(うま)年です。

最近は、朝日町では馬の姿を見るることはできませんが、昔は農耕馬や運搬のための動力馬として飼われ、家族の一員として大きな役割を果していました。

その昔を物語る絵馬が、太郎の大日如来堂に貴重な歴史資料として残っています。江戸時代の末期に、豊作を願い奉納されたこの絵馬は、田あこしから刈り入れまでの一年間の、四季折々の農作業の風景を表した珍しいものです。

郷土の文化財を大切に

毎月第一、第四土曜日は、町役場が休みとなります

町役場は、平成二年一月二十七日の第四土曜日から毎月第二・第四土曜日が休みとなりますので、お知らせいたします。

病院、保育園などは

今までどおりです

第一・第四土曜日が休みとなるのは、役場本庁、水道事業所、西部・北部公民館です。町立朝日病院、保育園、学校並びに家族旅行村「朝日自然観」は、これまでどおり、第二・第四土曜日でも業務を行います。

婚姻届や死亡届等は受付いたします

土曜閉庁時は、これまでの日曜日と同じ日直体制により、出生届、婚姻届、死



亡届等の受付事務は行いますが、住民票や印鑑証明、税務証明はできなくなりますのでご了承願います。

**ご理解とご協力を
お願いいたします**

土曜閉庁については、町議会などで町民に与える影響などについて十分審議されましたが、さらに事務改善等を行い、行政サービスのより一層の充実をはかつてまいりますので、町民のかたのご理解とご協力をお願いいたします。

(役場総務課)